

## 中津山2地域保全隊広域協定〔石巻市〕

地区概要	取組面積：300.7ha（田300.7ha） 資源量：水路67.9km 農道16.6km ため池一箇所						
令和3年度交付金	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">農地維持支払交付金</td> <td style="text-align: right;">4,510千円</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（共同活動）交付金</td> <td style="text-align: right;">3,608千円</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（施設の長寿命化）交付金</td> <td style="text-align: right;">-千円</td> </tr> </table>	農地維持支払交付金	4,510千円	資源向上支払（共同活動）交付金	3,608千円	資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	-千円
農地維持支払交付金	4,510千円						
資源向上支払（共同活動）交付金	3,608千円						
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	-千円						
地域の概要	本地域は、北上川と旧北上川に囲まれた輪中地帯の中流部に位置した水田地帯となっています。地域内の水田は、ほ場整備事業により大区画ほ場に整備済みで、水稻だけでなく麦・大豆といった畑作物も栽培されており、1年を通じて四季折々の表情を見ることができます。交通面では、三陸自動車道の桃生豊里インターの玄関口に位置し、居住・工場誘致等にも適した地域となっています。						
取組みの概要	当保全隊は、寺崎・中津山・城内地区の3つの集落からなる広域協定組織で、農地維持活動では、泥浚・水路農道の除草・敷砂利に取り組み、資源向上活動では、植栽・清掃・休耕地の除草伐採・施設の点検・異常気象時の巡視等を行っています。 農地維持活動は、主に農業者が主体となり活動を行っていますが、資源向上活動では非農家の方も加わり、保全隊活動を通じて地区のコミュニケーションの向上にも寄与しています。						
取組みによる効果	「継続は力なり」と聞きます。 平成19年から中津山2地域保全隊としての活動に取組み、事業計画も通年事業として地域の方々にも認識され、事業への参加呼びかけ意義等を説明するまでも無く、非農家の一部の方々からも「除草作業を手伝いましょうか」と積極的に参加していただいております。 また、定期的に事業を行うことにより、荒れた状態での作業負担が軽減され、安全管理面、環境管理面等で地区の顔が見える活動になりました。						
今後の課題	参加者の高齢化、農家の後継者が居ない状態が表面化し、いつまで事業を行えるか、また、事業を継続する為にはどのような工夫・対策があるのか、お知恵をお借りしたい現状です。 また、役員数9名で活動の運営・管理等を行っていますが、役員数名が複数年携わり、リーダーとして運営しているため、一部の役員に事務負担が覆い被さっている現状があります。						



水路の泥上



水路法面等の除草



農道の敷砂利



植栽活動



役員会議



広報活動 — 啓発看板（活動PR）